

2026年1月30日 第3540回例会

於： 横須賀商工会議所

<点鐘・開会> 12:30 山下会長

<斉唱> 「それでこそロータリー」

<ビジター紹介> *アーカス湘南ロータリークラブ 会長 原 いづみ 様

<会長報告> *第7回理事役員会 報告

*ガバナー事務所より

・「済州を知り国際社会奉仕を経験する旅」のご案内について

日時：3月16日(月)～19日(木)

費用：183,000円 予定人数：20名(先着順)

・ローターアクト・RYLA委員会のご案内について

日時：2月 7日(土) 17:30～ 委員会

場所：第一相澤ビル3F「会議室」

・インタークト委員会・アクターズミーティング開催のご案内について

日時：2月14日(土) 13:00～ IA委員会

14:00～ アクターズミーティング(防災訓練)

場所：横浜市民防災センター JR横浜駅西口より徒歩10分

・第1グループIMについて

<委員長報告> *高橋直前会長よりインタークト海外研修（台湾）報告

*地区ローターアクト・RYLA委員会 角井副委員長よりRYLA参加のお願い

<幹事報告> *ガバナー月信 NO. 7

<出席報告> *鈴木豊司幹事から1月30の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
113名	101名	52名(1名)	49名	4名	55.45%

メークアップ：小保内会員 地区委員会出席 小林(一)、鈴木(孝)両会員 理事役員会出席

新倉会員 横須賀南西RC例会出席

<ニコニコ報告>

・アーカス湘南RC 会長 原 いづみ様 残念ながら2月末をもちまして、アーカス湘南ロータリークラブは終結させていただくことになりました。11年間ありがとうございました。

・三役 アーカス湘南RC会長 原 いづみ様、本日はようこそお越し下さいました。どうぞ当クラブ例会をお楽しみください。

・石田、八巻、小林巖、小山巖、田邊、角井、藤村、高橋巖、岡田巖、勝見、吉田巖、比護 各会員

アーカス湘南ロータリークラブ 会長 原 いづみ 様、ようこそお越し下さいました。ごゆっくり例会をお楽しみください

・江沢 会員 誕生日祝いとして

・三堀 会員 入会月祝いとして

・三役 本日は第2回クラブ協議会（中間報告）です。委員長の皆様どうぞ宜しくお願ひいたします。

・梁井、井上、真野、江口、佐久間、江沢、杉浦、徳永、根岸、八木、川名、三堀、兼城、前田、池田 各会員

本日は第2回クラブ協議会です。三役、各委員長の皆様、ご報告よろしくお願ひいたします。

・大野巖、加藤巖、田中、権田、松本巖、八巻、角井、高橋巖、鷺尾、長尾 各会員
本日の第2回クラブ協議会で中間報告をさせていただきます。残りの5か月も引き続き



会員の皆様のご協力をお願いいたします。

・堀 川、梶 木、柴 田、石 川、三 井 各会員

大相撲序の口で横須賀出身力士の蒼富士（あおいふじ）が7勝全勝でしたが優勝決定戦で負けて準優勝。その後、すぐに蒼富士が付け人として戻ったのが熱海富士。その熱海富士も決定戦で負け準優勝。まだまだ未来ある若い二人です。応援よろしくお願ひいたします。ちなみに蒼富士は公郷出身だそうです。

<卓 話>

第2回クラブ協議会（中間報告）

1. 会長 山下和男

皆さま、改めまして、会長の山下です。本日は、当年度の折り返しとして、2025年12月31日までの半期を振り返り、中間の総括を申し上げます。最初に皆さまに、心からの感謝を申し上げます。副会長、幹事をはじめ各役員の皆さま、そして事務局様。日々の例会運営、連絡調整、資料準備など、クラブを支えてくださり本当にありがとうございます。そして会員の皆さまにも、深く御礼申し上げます。私の至らぬ点も多々あったかと存じますが、いつも温かく支えてくださり、またご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

2. 会計 鷺尾精一

2025年7月1日～2025年12月31日までの半期の報告を申し上げます。

総収入については予算2,878万円に対し、実績2,114万円。これは寄付金として支払う予定の預かり金156万円を含んだ数字ですが、にこにこBOXも半期で予算額350万円のほぼ五割の179万円を達成する等、予定通りの実績となっております。引き続き予算達成を目指し皆様のお力添えを宜しくお願い申し上げます。一方の総支出は1,222万円。こちらも適宜理事会に諮りつつ計画通りの進捗であります事をここに報告申し上げます。今月より下期に突入しておりますが、無駄なく且つ充実したクラブ運営を目指し、慎重に予算管理して参ります。

3. SAA 比護友一

日頃より例会運営にご協力いただきまして誠にありがとうございます。上半期のSAA業務についてご報告をさせていただきます。活動報告書には主に品位と秩序を保ち、和やかで楽しい雰囲気の中にも格式のある例会作り、楽しい歓談の場になるようなテーブルの席割り、快くご寄付いただけるようなニコニコボックスについて挙げさせていただきました。ニコニコにつきましては、現時点では、今年度の目標額350万円に対し、最終予定金額は340万円くらい（約マイナス10万円）となっています。しかし最近の出席率が伸びない事や、今年度の例会数が少し少ないことを考えますと、皆さまには十分すぎるほどの温かいご厚意を頂いており、心より感謝申し上げます。引き続き、多くの皆さまからのニコニコをお待ちしております。例会の運営にあたりましては、親睦活動委員会、会報委員会、デジタル委員会の皆さまと三宅さんにご協力を賜り、スムーズに進めることができることを重ねて御礼申し上げます。これからも皆さまにとって、心地よいお昼のひとときとなっていましたら幸いです。これからも椿副SAA共々、残り5ヶ月となりますが、例会の運営はもちろん様々な事業にも尽力して参りますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

4. 会報委員長 石田裕樹

会報につきましては、委員の皆さま、事務局の三宅さんのご協力のおかげで順調に発行できていると思います。ご尽力に感謝申し上げます。昨年度、試験的に行った会報のペーパーレス化におきまして、今年度より正式に実施をさせて頂いております。現在のところ大きな問題もなく順調に実施できております。更なる改善のためには、読者である会員の皆さまからの声をお聞きし、それに応える必要があるかと思います。正確で分かりやすく読みやすい会報を作成する方針としておりますが、皆さまからの忌憚のないご意見を頂ければと思いますのでどうぞよろしくお願ひ致します。残りの期間も正確かつ読みやすい会報の作成に取り組んでまいりますので引き続きご協力の程どうぞよろしくお願ひ致します。

5. 雑誌委員長 濱田恵理

雑誌委員として毎月江口副委員長と交代で「ロータリーの友」の記事を会員の方達が後でお読みになるときの参考になるよう要約して発表しております。「ロータリーの友」は興味深い内容が多いのに、限られた時間の中で詳しくお伝え出来ないのがもどかしいですが、これからもR I の理念に基づく記事や少し肩の力が抜けるような楽しい記事を紹介していきたいと思います。引き続きよろしくお願ひ致します。

6. 出席委員長 森 勇人

今年度は、加賀本副委員長、浅葉委員とともに常に連絡を取り合い3名でローテーションを組み出席報告を例会にて行っております。残り半年となりましたが、会員皆様には引き続き出席率の向上にご協力いただきますようお願ひ致します。

7. 親睦活動委員長 大野健男

11月の吉池旅館への親睦旅行、12月の年忘れ家族例会を会員の皆様のご協力で無事に終えられた事、この場をお借りして感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。下半期につきましても、例会会場の設営や例会運営のサポートを委員会メンバーで協力をして行って参ります。引き続きよろしくお願ひいたします。

8. プログラム委員長 田中由紀子

今年度の例会卓話プログラムは通常卓話を13回開催したほか新会員卓話を2名の方にお願いしました。卓話につきましては会長、副会長、幹事と連携いろいろなジャンルの方をお呼びし会員の皆様に興味を持っていただける内容でお話しをしていただける卓話者を選定して参りました。残りの期間も会員の皆様にとって有意義で楽しい卓話を心がけて参りますので引き続き会員の皆様からのご助言ご協力を宜しくお願ひいたします。

9. 広報・公共イメージ委員長 松本明弘

この半年、広報・公共イメージ委員会では、SNS関係は堀川会員、メディア関係を吉田久美子会員に担当してもらい、役割を分担して主にホームページの充実化、一般の方々にも親しみやすく、分かりやすい、見やすいをテーマにて取り組み、会長、並びに各約委員の似顔絵を作成したり、JCOMと協賛し、テレビ番組に放映された動画をいつでも見られるように掲載しました。残り半年、担当役員である物井理事にご指導いただき、横須賀安全協会協賛の新入生ランドセルカバー贈呈、10000メートルプロムナードクリーン作戦、チトワン水道支援などの、ロータリー活動報告に努めてまいります。皆様方のご協力よろしくお願ひ致します。

10. デジタル委員長 木村一郎

例会でのZOOM配信設営が主な仕事です。前年にZOOM設備の簡略化もあり、設営に費やす時間は少なくなりましたが、更に機材の簡略化ができると、トラブルなく設営時間も短く出来る可能性があると思っております。この辺が今後の課題です。その他に、MYロータリーへの登録のお手伝いもデジタル委員会の仕事です。まだMYロータリー未登録の会員は是非、ご相談ください。また親睦活動委員会の方々のご協力でZOOM設営がスムーズにできていることに感謝しています。

11. ラーニング委員長 八巻敏博

2回の担当例会ラーニングセミナーのうち、12月5日に地区財団・ポリオ推進委員会委員 高橋隆一会員から「チトワンRCとのプロジェクトへの財団補助金の関わりについて」の題でお話しいただき、会員の皆様にロータリー財団の理解を深めていただきました。2月27日例会後に新会員セミナーを行う予定でしたが、クラブの重要な会議が急に重なり、やむを得ず延期。日程を調整して今年度中には実施したいと考えております。3月27日に「地区委員会活動を知る — ガバナー輩出を控えて」として地区委員3名から地区委員会での経験や学びをお話しいただく予定です。

12. 職業分類委員長 濑戸映男

職業分類委員会では、職業分類の役割を十分考慮し、時代に沿った事業及び専門職の適正分類を行いました。クラブにふさわしい方の入会をしっかりと行えたと思います。下期も引き続き適正分類に努めてまいります。

13. 会員選考委員長 越川昌光

新たな会員選考につきましては履歴書等で人格・資質を確認して健全な経営者であり、また例会には率先して出席できる方に留意し慎重に審査しました。

14. 会員増強・会員維持委員長 角井駿輔

今年度開始時・7月1日時点での当クラブ会員数は111名だったところ、現在の会員数は113名であり、純増2名となっております。このうち、入会については、8月に齋藤麻梨会員、11月に石川会員と神坐会員が入会されましたが、12月に竹株会員が残念ながら退会されました。ただし、メルキュール横須賀につきましては、後任の吉住総支配人に関する入会手続が進行していると聞いておりますので、入会されましら会員数114名となる予定です。クラブ会員数の適正人数については、種々ご意見があるところかと思いますが、クラブ活性化のためには新会員によるエネルギーの注入が不可欠です。当職自身、入会を呼びかけている候補者はいますが、なかなか色よい返事をもらえておらず、長期的に声をかけ続ける必要性があると感じています。その意味では、濱田前委員長にもいろいろとご尽力をいただいておりますことをこの場をお借りして感謝申し上げます。

会員の皆様におかれましては、引き続き周りにいらっしゃる入会候補者の方に対し、当クラブへの入会についてお声掛けいただけますと幸いです。

15. 職業奉仕委員長 曽我宗光

今年度は地区において職業奉仕に関するセミナーが既に2回開催され、各クラブの委員長間で「職業奉仕」に対する理解を深め、知識の共有がなされております。横須賀RCでは毎年恒例となっております「職場体験学習」をこの1月に実施し、無事終了することができました。協力企業様、横須賀学院生徒・関係者の皆様、そしてガイダンスをお引き受けいただきました野村證券横須賀支店・梶木支店長にはこの場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。引き続きどうぞ宜しくお願ひいたします。

16. 社会奉仕委員長 齋藤秀人

本年度における社会奉仕委員会活動は、年度方針にある、人間尊重、協同奉仕、地域発展、環境保全の4つの使命を遂行すべく、この半年間活動を行ってまいりました。特に加藤敦副委員長の完璧な段取りの元、これまでの行事は順調に推移しております。まずは11月2日に行われましたエンドポリオ募金活動は、神奈川歯科大学、三浦学苑インタークト、ローターアクト、横須賀クラブなど74名の方々にご協力を賜り、773ドル(119,000円)の送金を行う事が出来ました。また、好評を頂いております、障害者施設の製品即売会では、市内46か所の作業所さんにお声がけをして、毎回その名の通り即売(即完売)されます。これは金額は少ないですが、障害を持った人たちの職業の提供であり、「やりがい・生きがい」につながる大切な奉仕活動と認識しております。今後ともよろしくお願い致します。3月8日の1万メートルプロムナードクリーン作戦も、現在400名を超える参加申し込みを頂いております。こちらにつきましても、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

17. 国際奉仕委員長 加藤敦

新たな国際奉仕のテーマとしてネパール「チャムガ・カスワ村の安全な飲料水給水プロジェクト」に着手し、2025年8月に国際ロータリー財団より正式にグローバル補助金を受給し、翌9月より工事着工に入ることができました。そして、11月にはチトワンロータリークラブ4名が来日し「工事進捗状況の報告と日本とネパールの友好関係構築を目的にネパール在日大使館及び横須賀市の方、2780地区のネパール支援の実績あるクラブ会員等をお招きした祝賀会の開催、更には本プロジェクトが完了した後もチトワンロータリークラブとの結びつきを絶やすことなく、継続的な相互協力で奉仕活動に努めていくことを目的に「MOU(覚書)締結・調印式」も行いました。給水工事も2月下旬完了を予定しており、当クラブからも現地の工事完了式典へ参加を予定しております。下半期は国際奉仕委員会だけでなく他の委員会とも連携し、新

たな支援テーマを考え、チトワンロータリークラブとの友好関係を深めつつ、実りある国際奉仕に繋げていく所存であります。どうぞ会員の皆様、ご理解・ご協力の程よろしくお願ひ致します。

18. ローターアクト委員長 権田理司

横須賀ローターアクトクラブは本年度前期の内に会員の増強があり、現在は12名で活動しております。10月4日に行われた創立50周年記念式典につきましては、当クラブ会員の皆様にも多大なご協力をいただきまして、無事に開催することができました。改めまして御礼申し上げます。ローターアクトクラブのメンバーも準備等が大変だったと思いますが、貴重な経験になったものと思います。その他にも、月2回ほどの例会に加えて、エンドポリオ募金活動への参加、ジャズフェスティバルでの募金出店、他クラブとの合同例会などを実施いたしました。後半につきましても、1万メートルプロムナードクリーン作戦への参加、インターハイとの合同例会、RYLAへの参加などを予定しております。引き続きローターアクト委員並びに関連委員会の皆様と一緒に、ローターアクトクラブの活動を見守って参りたいと思います。

19. インターアクト委員長 小山陽生

3月20日、21日でRYLA研修会が七沢自然ふれあいセンターにて開催されます。私は、今回21日(土)に参加してインターハイの三送会に出席したいと考えております。三送会とはインターハイの3年生の先輩達を送る会になります。今回はしっかりと見届けたいと思います。また、2月13日(金)に三浦学苑顧問教諭の了承を得て、生徒会の定例会に出席させて頂く予定です。時間は1時間弱の予定だそうですが、副委員長兼、地区インターハイ委員の杉浦さん、RAC委員長の権田さんも一緒に参加して下さる予定です。いつもは三浦学苑IACの皆さんとして、学生の皆さんと接していますが、今回は生徒会活動中のインターハイとして、どのように定例会が運営されているのか?生徒会としての学生たちの学校生活を一部でも拝見できることが楽しみです。顧問教諭と生徒会学生たちの絆や、IACの原点の生徒会活動を肌で感じてみたいと思います。以上中間報告になります。

20. ロータリー財団委員長 長尾和典

会員の皆さま方からは会費納入時に15,000円のご寄付を頂きありがとうございます。第1期分(2025年7月～10月分)の会費納入時の15,000円のご寄付は、98名の会員から頂きました。この金額は全額、ロータリー財団への寄付(15,000円=約96ドル)として送金されます。第2期分(2025年11月から2026年2月分)の会費納入時のご寄付は現時点で98名の会員からご寄付を頂いており、今後、米山奨学会及びロータリー財団へ振り分けられる予定です。そして、振り分けした後、RIに送金されます。ロータリー財団への当クラブの寄付目標は1人200ドルですので、目標金額は22,600ドル(=200ドル×113名)となります。現在合計で約\$15,800のご寄付を頂いておりますので、目標金額まであと\$6,800(=22,600ドル-15,800ドル)となりました。ロータリー財団へのご寄付は皆様もご承知の通り、ロクナト会員を中心に行しております「ネパールでの給水project」などへと使われ、まさに地球規模での善行に寄与しております。今後とも皆様には会費納入時のご寄付並びに任意でのご寄付をお願い致します。

21. 米山奨学会委員長 斎藤眞且

奨学生は月1回の世話クラブへの例会出席や奉仕活動、地区大会、米山月間、国際交流会等の参加を通じてロータリークラブ会員との交流を深め信頼関係や親睦を深めています。クラブの米山奨学会委員会では地区の米山奨学会開催の奨学生歓迎会、カウンセラーリンク会、セミナー、地区大会お茶サービス、国際交流会、修了式などの参加を通じて地区との連携を密にし、奨学生が安心して学べる環境を作っていくたいと思います。会員の皆様には米山奨学会事業の目的をご理解いただき、今年度もお1人2万円以上のご寄付をお願い申し上げます。

22. 危機管理委員長 北村理和子

今年度、活動方針に掲げました、国際ロータリーの「青少年と接する際の行動規範に関する声明」に基づき、青少年奉仕委員会が中心となりインターハイ委員会と連携し、この方針を諸活動に照合しながら行動

規範として取り組まれている事と存じます。今年度後半も、青少年の安全な環境と育成に向かって諸活動が進行されますように宜しくお願ひ致します。

23. 3-yeas Rolling Target/Plan 委員長 高橋隆一

本年度より新設された3-yeas Rolling Target/Planはトライアル期間の2年目にあたります。当クラブとしては、3年間の目標として、会員増強と国際奉仕を委員会のメインプログラムとして考えております。会員増強は、単年度での勧誘・入会は現在の社会情勢を考慮すると難しいものがあります。多年度にわたり勧誘を続けることが会員拡大増強に繋がります。会員皆様のご協力を願い致します。また国際奉仕は、昨年よりグローバル補助金を使ったネパールへの水道事業が始まりました。事業の実効性を確認するために山下会長を中心とした会員がネパールへ行く事になりました。更に渡邊年度に向け補助金事業終了後の継続性、多岐にわたる支援の有無があるかを調査していく事になります。いずれも単年度では難しい事業なので3-yeas Rolling Target/Planとして考慮実行を図っていきます。

24. 幹事 鈴木豊司

山下年度となり1月末をもって、7か月が経ちました。

準備期間を含め既に2年近く三役と時を共にする中で、山下会長は勿論の事、ガバナー・ミニーや各会員方のロータリークラブへの熱い想いに触れ、クラブ幹事の重責を再認識する毎日です。また日頃の奉仕・親睦活動、例会に於いて、委員長方は勿論、本当に多くの委員方のお力添えに触れ、横須賀RCの一体感を感じていますし、会員卓話を聴く度その話術にも感服する時を過ごしています。一方お役ゆえに様々な方々と接する中、希に辛辣な物言いや態度に触れる事もあり、自分もやり得るなど、親しき中での礼節を学ぶ良い機会となっています。案件を多く抱える横須賀RCですが、クラブそして会員の皆様に少しでも寄与できるよう努めて参ります。引き続き皆様のお力添えを宜しくお願ひ申し上げます。

<閉会・点鐘> 13:30 山 下 会長

週報担当 石 田 裕 樹